

FOCS DS-L 取扱説明書

はじめに

この度は「ゆっくりレンタカー」をご利用いただきありがとうございます。
本書はキャンピングカーFOCS DS-Lの取扱方法を説明したものです。

キャンピングカーの取扱いは乗用車と異なり、いろいろな機能や機器など、
居住に関わる部分を多く取付けておりますので、ご使用前に必ずお読み
下さい。

本書は次のお客様の為にも大切に保管下さい。

車両の仕様などの変更により、取扱商品、設備に関して内容が一致しない
場合もございます。

あらかじめご了承下さい。



ガイドの構成

①ご使用前に	当社製作車両がお手元に届いたらまずお読みください。	
②標準装備一覧	標準装備一覧です。	
③各部の名称と使い方	1	キャンピング設備電源
	2	電装配電盤
	3	メインパネル
	4	走行充電装置
	5	外部100V充電装置
	6	サブバッテリーの上手な使い方
	7	DC12Vソケット
	8	USB充電ポート
	9	100Vコンセント
	10	照明
	11	水回り
	12	カーナビ電源スイッチ
	13	テーブル
	14	ベッド操作方法
	15	カーテン
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
OP	FFヒーター（オプション品）	
④車両レイアウト	登録検査時のレイアウト図です。	

① ご使用前に





このたびは、当社の製作車両をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

このガイドは当社で施工した、設備・装備について説明しています。

お客様が安全・快適なキャンピングカーライフをより楽しんでいただくために、ご使用前に必ずお読みください。

- ★ この車両はキャンピングに必要な設備を装備した車両となっております。車両登録はキャンピング車となります。
- ※ 以降、装備の説明ではキャンピング設備と説明しています。
- ★ この説明書は各部の取り扱いを説明し、装備など必要な情報を説明しています。
- ★ ご不明な点は、当社までお尋ねください。
- ★ この説明書は車両の取り扱い説明書・保証書と共に、いつもお車に保管してください。
- ★ 自動車本体については、自動車メーカーの説明書をご覧ください。
- ★ 車両の仕様変更により、この説明書の内容と一致しない場合がありますがご了承ください。

安全にお使いいただく為に

 警告	誤った取扱いをすると、怪我などにつながる可能性がある内容を示しています。
 注意	誤った取扱いをすると、機器の故障につながる内容を示しています。
 禁止	「してはいけないこと」を示しています。
 推奨	「しなければいけないこと」を示しています。

② 装備品一覧

下記は当社が標準装備として架装した装備の一覧です。
お手持ちの車両には下記装備がすべて装備されています。

- ・断熱処理（グラスウール&スタイロフォーム）
- ・サブバッテリー×1（105A） ※ゆっくりレンタカーは2基（105A）搭載
- ・走行充電システム
- ・室内12Vソケット×1
- ・USB充電ポート
- ・サブバッテリー電圧計
- ・室内照明各種
- ・脱着式テーブルセット
- ・シンク+スイッチ付き蛇口
- ・給排水10Lポリタンク
- ・遮光カーテン

使用についての注意



怪我・火傷・火災などの原因になります。

- 走行中は各部の扉、ベルトがロックされていることを確認してください。
- 上部物入れには重量物を収納しないでください。
- 収納、積載物が移動、落下しないようにしてください。
- 走行中はシートベルトを装着してください。
- 走行中は寝台を使用しないでください。
- 走行中は所定の位置以外への乗車はしないでください。
- 走行中は車内では移動はしないでください。
- 走行中は調理器具を使用しないでください。
- キャンプ中、調理器具を使用する場合は必ず窓を開けるか、ベンチレーターを作動させ換気を必ず行ってください。
- キャンプ中、調理器具を使用する場合は近くの可燃物（カーテンなど）にご注意ください。
- キャンプ中のFFヒーター使用では、ヒーターマフラー近くに可燃物が無いことを確認し、使用してください。
- キャンプ中、ベッドを使用する場合は、止め具がしっかりかかっているかを確認し、落下にはご注意ください。



機器の故障の原因になります。

- 走行中はサイドオーニングがしっかり収納されているか確認してください。
- 定期的にサブバッテリーのメンテナンスを行ってください。
- キャンピング設備の電装品の改造をしないでください。
保証の対象外となります。
- シート、ベッドには立って歩行しないでください。



継続車検が受けられなくなります。

- シートマットは車両から降ろさないでください。
- シンク、蛇口など炊事設備は車検に必要な装備となります。
無理な取り外しなどをしないでください。

③ 各部の名称と働き

1・キャンピング設備電源

当社製作のキャンピングカーには
キャンピング設備専用のバッテリーを
搭載し、走行充電装置又は外部100V
充電装置により充電することができます。

走行充電装置は車両のエンジンが掛かっている
時、自動でサブバッテリーを充電します。

サブバッテリー



右シート家具内部

外部100V充電装置は、AC100V電源（家庭用コンセントやキャンプ場の
電源サイトなど）のある場所で外部充電コンセントを接続することにより、
サブバッテリーを充電することができます。

サブバッテリーの充電について

キャンピングカーはさまざまな電装品を装備し、使用することができます。すべての電装品はサブバッテリーが正常に充電されている状態であれば快適に使用することができます。

サブバッテリーはキャンピング設備を使用していなくても常時放電しています。（電圧が下がる）

キャンピング設備を使用しようと思ってもサブバッテリーの充電状態が悪ければ、正しく使用することができません。

キャンピングカーのサブバッテリーはメンテナンスフリーのディープサイクルバッテリーを搭載していますが、バッテリーの充電状態はメンテナンスフリーではありません。

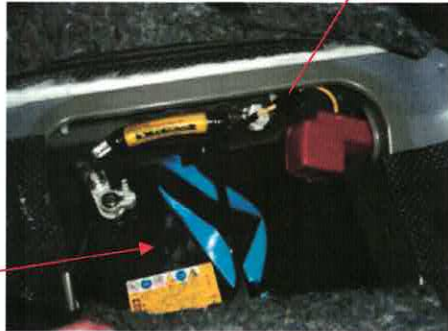
使用したいときに快適にご使用できるよう、お車を使用していない時でも普段からサブバッテリーへの充電が必要です。

2・電装配電盤



C
D
E

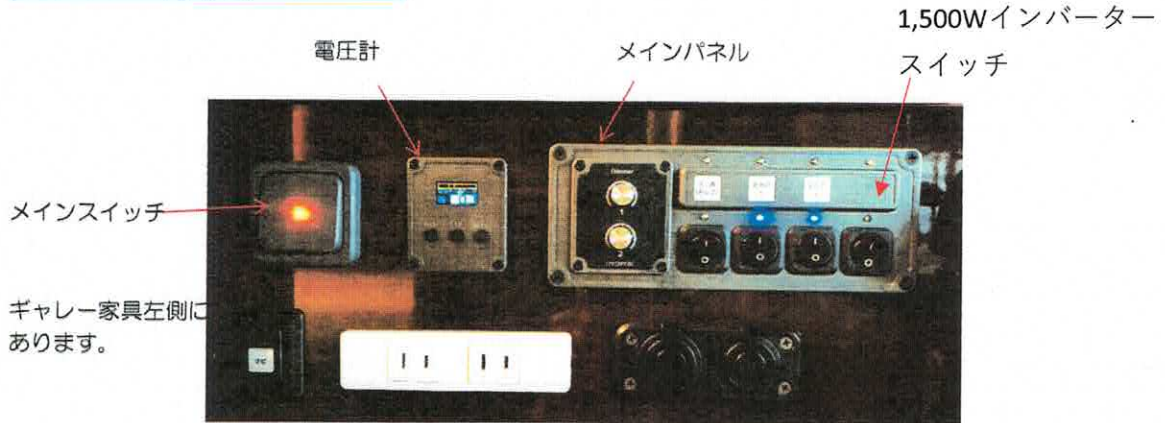
K



車両搭載のバッテリー

A	
B	
C	走行充電器 出力側ヒューズ 30A
D	メインスイッチ・パネル用ヒューズ 30A
E	冷蔵庫用ヒューズ 10A
F	
G	
H	
J	
K	走行充電器 入力側ヒューズ 30A

3・メインパネル

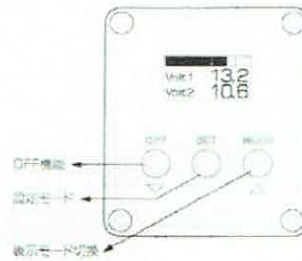


◆ 設定モード:

- 【SET】ボタンを約2秒以上長押しで設定モードに入ります。
- 左の【▼】と右の【▲】ボタンを短押しで数値を調整してください。
- 【SET】ボタンを短押しで設定すると同時に次のステップに進みます。

Volt1 高警告設定 15.0V	(1)【Volt1 高警告設定】: 電圧計-1の高電圧の警告値を設定してください。 【設定範囲】 13.0V~32.0V
Volt1 低警告設定 10.0V	(2)【Volt1 低警告設定】: 電圧計-1の低電圧の警告値を設定してください。 【設定範囲】 0.0V~32.0V; それに、(1)【Volt1 高警告設定】の設定値より低い。
Volt2 作動設定 作動させる	(3)【Volt2 作動設定】: 電圧計-2の計測と表示の可否を設定してください。 【設定範囲】 【作動させる】と【作動させない】
Volt2 高警告設定 15.0V	(4)【Volt2 高警告設定】: 電圧計-2の高電圧の警告値を設定してください。 【設定範囲】 13.0V~32.0V
Volt2 低警告設定 10.0V	(5)【Volt2 低警告設定】: 電圧計-2の低電圧の警告値を設定してください。 【設定範囲】 0.0V~32.0V; それに、(4)【Volt2 高警告設定】の設定値より低い。
一般表示輝度調整 7	(6)【一般表示輝度調整】: 一般表示のバックライトの明るさを設定してください。 【設定範囲】 1~10レベル
睡眠表示輝度調整 2	(7)【睡眠表示輝度調整】: 睡眠状態のバックライトの明るさを設定してください。 【設定範囲】 OFF~1~10レベル
睡眠時間調整 2	(8)【睡眠時間調整】: 睡眠状態に自動的に変わる時間を設定してください。 【設定範囲】 1~10分間
ブザー作動設定 作動させない	(9)【ブザー作動設定】: 警告値を超えたらブザーを鳴らせるかを設定してください。 【設定範囲】 【作動させる】と【作動させない】
時計時間調整 15:20	(10)【時計時間調整】: 時計の時間を設定してください。【▼】=時: 【▲】=分。 【設定範囲】 0:00~23:59
終了	(11)【終了】: すべての設定項目が完了しました。次には一般表示の画像に戻ります。

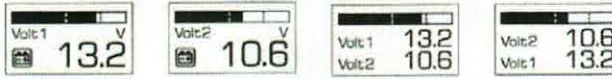
Volt1 : メインバッテリー
Volt2 : サブバッテリー



◆ **表示モード: (5 画像)**

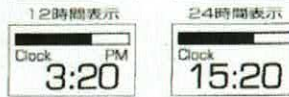
【MODE】ボタンを短押しして表示モードの5画像が切替ます。

- ① 電圧計1 ② 電圧計2 ③ 電圧計1 + 電圧計2 ④ 電圧計2 + 電圧計1



- ⑤ 時計:

【SET】ボタンを短押しして12時間表示と24時間表示が切替ます。



◆ **OFF機能:**

【OFF】ボタンを短押しして表示の画像が真っ黒に消えて、OFFの状態となります。

- OFFの状態ですれのボタンを短押ししたらメーターが起動してオープニングモードが始まります。


◆ **ワーニング機能:**

- 計測値が設定の警告値を超えると、警告として超えた計測値が反転に点滅します。
- 計測値が連続5秒間に設定の警告値を超えると5画像が同時に点滅するし、ブザーがなります。



- 黄色バーに設定の警告値は破線で示されます。
- 【OFF】ボタンを短押ししたらブザーがミュート(消音)となります。



 FFヒーターはメインスイッチのON・OFFに関係なく使用することができますが、サブバッテリー上がり防止および過放電保護装置を作動させるため、必ずメインスイッチをONの状態にしてFFヒーターをご使用ください。

4・走行充電装置

走行充電装置はエンジンを始動することによりサブバッテリーに自動的に充電を開始します。走行充電装置が作動しているかどうかは、装備品を使用しない状態でエンジン始動後、メインパネルの電圧計の値が上がることで確認できます。

また、この走行充電装置には過充電防止装置が付いているため、サブバッテリーが過充電になることも防止しています。

エンジンを始動してもメインパネルの電圧計の値が上がらない場合は、走行充電装置が作動していない状態が考えられます。その場合は下図のC・Kのヒューズが切れていないか確認し、切れている場合はヒューズを交換してください。

サブバッテリーチャージャー・スイッチ



C



K

ヒューズC 30A

ヒューズK 30A

ヒューズは一般量販店で販売されているブレードヒューズです。



ヒューズを交換しても再度ヒューズが切れる場合は、走行充電装置本体の故障、又は配線類の不具合が考えられます。

その場合は速やかに点検・修理をお受けください。

5・外部100V充電装置

外部100V充電装置は、外部100V入力コンセントを接続することでサブバッテリーを充電することができます。（周波数関係なし）



外部100V入力ケーブル



外部100V入力コンセント



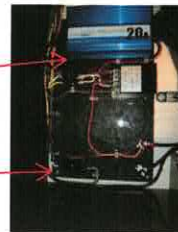
- ①外部100V入力ケーブルとソケットに刻印されている数字を合わせて接続します。
- ②外部100V入力ケーブルの反対側を家庭用100Vコンセントに接続します。
- ③ケーブルを外す場合はフルリングを引っ張りロックを解除して外します。

外部100V充電装置は外部の100Vコンセントに接続することによりサブバッテリーに自動的に充電できます。

外部の100Vコンセントに接する際は、外部100V入力ブレーカーを「入」に切り替え、サブバッテリーチャージャーのスイッチをONにしてください。充電中は電圧計Volt2の表示がVolt1より高い値になります。

サブバッテリーチャージャー
・スイッチ

外部100V入力ブレーカー



外部100V入力ブレーカーを切り替えても電圧計が上がらない場合、Cのヒューズが切れている可能性があります。その場合はヒューズを確認・点検し、ヒューズが切れていたら交換してください。



ヒューズを交換しても再度ヒューズが切れる場合は、走行充電装置本体の故障、又は配線類の不具合が考えられます。
その場合は速やかに点検・修理をお受けください。

6・サブバッテリーの上手な使い方

キャンピングカーはさまざまな電装品を装備し、使用することができるようになっていますが、車やキャンピング設備を使用しない場合でもサブバッテリー自体の自己放電やキャンピング設備の微量の消費電流(機器内部の回路を流れる電流)により、サブバッテリーの電圧は下がっていきます。

また、走行充電装置や外部100V充電器によりサブバッテリーを充電しながらキャンピング設備を使用しても、消費電力が大きい場合はサブバッテリーの電圧は下がっていきます。

サブバッテリーは一度過放電状態(バッテリー上がり)になると、再充電を行ってもバッテリーとしての性能が著しく低下してしまいます。

さらにサブバッテリーの電圧が著しく低下している状態で装備品を使用するとメインバッテリーの電圧低下も招き、車両のエンジン始動が不可能になってしまう恐れがあります。その場合はメインスイッチをOFFにし速やかに装備品の使用を中止し、走行充電装置や外部100V充電器で充電を行ってください。

長期間使用しない場合でも、メインパネルの電圧計をこまめにチェックして、電圧が下がってきたら、充電装置で充電してください。

通勤などで毎日走行している車でも、短時間の走行や、アイドリングの状態ではサブバッテリーを満充電にすることはできません。

キャンプ等で車を使用する予定の場合、お出かけになる2・3日前からご自宅で外部100V充電を使用してサブバッテリーを充電し、満充電にしておくことをお勧めいたします。

～旅先でサブバッテリーが上がってしまったら～

充電電流の大きい外部100V充電装置を使用して充電するのが理想ですがAC100V外部コンセントが無い場合は、アイドリング以外での走行充電装置を使用した充電をできるだけ長時間(キャンピング設備のスイッチをすべてOFFが望ましい)行ってください。

■充電推奨順番■

- 1 外部100V充電装置を使用した充電
- 2 走行充電装置を使用した走行時の充電
- 3 走行充電装置を使用したアイドリングでの充電

7・DC12Vソケット

メインパネルの電源1をONにすることで電源が供給され、ソケットタイプのDC12V製品を使用することができます。



DC12Vソケット (15A)



シガーライターは
使用できません



複数のソケットを使用したい場合は、市販品の
2連ソケットなどをご使用ください。
その場合でも総使用量は15Aまでです。

8・USB充電ポート

メインパネルの電源1をONにすることで電源が供給され、使用できます。

USBケーブルを接続することで携帯電話やモバイル機器などを充電することができます。

1ポートの出力は最大2.1Aです。



USB充電ポート (5V)



接続する機器やケーブルによっては、
充電できない場合があります。

9・100Vコンセント

外部100V入力ケーブルを接続することで外部からのAC100Vがコンセントから出力されます。

100Vコンセントを使用する場合、外部100V入力ケーブルを接続し、外部入力ブレーカーを「入」にしてください。



100Vコンセント部

外部100V入力ケーブルから入ってきたAC100Vはブレーカーを通り、外部100V充電器とコンセントへ繋がっています。



100Vコンセントに接続して使用できる電化製品は20A以下のもの（総合計の場合も20A以下）をご使用ください。

外部100V入力ケーブルの接続先のブレーカーが20A以下の場合はそのブレーカーの容量内でお使いください。

100V入力ブレーカー



※ゆっくりレンタカーは1,500Wインバータースイッチがありますので、そちらをONにして100Vコンセントをご利用頂けます。

100Vで使える主な室内装備品・・・電子レンジ、換気扇、電気ケトル、ドライヤー
(電子レンジと換気扇はコンセントに常時差込み済)



10・照明

室内照明



メインLED照明

室内灯1のスイッチをONにすることで使用できます。照明本体にもスイッチがあります。

調光式間接照明(左右)

間接照明調光スイッチ(上)を回すことでON・OFF及び、光量の調整ができます。

カウンター照明



調光式ラインライト(上下)

カウンターラインライト調光スイッチ(下)を回すことでON・OFF及び光量の調整ができます。

ダウンライト

室内灯2のスイッチをONにすることで点灯します。



スポットライト(左後部)

室内灯1のスイッチをONにすることで使用できます。本体横面にもスイッチがあります。

11・水回り

この車両には給水・排水用に10Lポリタンクと電動式水ポンプ・蛇口が装備されています。

メインスイッチONを後にし、蛇口のスイッチをON・OFFすることで使用できます。



家具へ水が跳ねた場合は、タオルなどで水分をふき取ってください。そのまま放置すると家具の腐食の原因になります。



給水タンク

ポリタンクを使用していますので、容易に持ち運び、水を補給することができます。

使用しないとき、移動時にはフタをしてください。

排水ホース

水回りを使用するときは排水タンクのフタを空けホースを入れます。

排水タンク

ポリタンクを使用していますので容易に水を捨てることができます。







使用しないとき、移動時にはフタをしてください。

水ポンプ

蛇口のスイッチをONにすることで作動し、タンク内の水を吸い上げ蛇口から水を出すことができます。

使用するとき、給水タンクの中に入れてください。

水回り使用にあたっての注意点（必読）

- | | |
|---|---|
|  | 給水・排水タンクは車両移動時、タンクに排水ホースや水ポンプを入れっぱなしにせず、必ずフタを閉めてください。 |
|  | 水を使用した後は必ずポンプの水抜きを行ってください。
また、長期間使用しない時などもポンプ内部に水が残らないようにしてください。
水抜きをする時は水ポンプをタンクから取り出しポンプを作動させホース内、ポンプ内の水を排出してください。
ポンプ内に水が溜まったままだとポンプ故障の原因になります。 |
|  | 冬季間は凍結するためタンク内に水を入れたままにしないでください。
タンクが割れるなどの破損の原因になります。 |
|  | 給水タンクにためる水は飲料水用ではありません。
洗顔・歯磨き・手洗いなどでお使いください。
タンク内は定期的に洗浄を行ってください。 |
|  | 水ポンプを給水タンクに入れて初めて使用する場合、ホース内に空気が入っているため、水に空気が混ざり勢いよく蛇口から出てくることがありますので、水はねにご注意ください。 |
|  | 水ポンプは水を吸わずにカラ運転を長時間続けると、ポンプが焼き付いてしまうことがありますのでカラ運転にご注意ください。 |

12・カーナビ電源スイッチ



カーナビ電源スイッチ

スイッチを押すことでカーナビの電源供給先を通常の車両電源(メインバッテリー)から、キャンピング設備用のサブバッテリーに切り替えることができます。

サブバッテリーからの電源供給に切り替えることによって、停車時のエンジン停止状態でもカーナビからの映像を天井のフリップダウンモニター上に映すことができます。



走行時にはカーナビの電源供給先を通常の車両電源側に切り替えてください。

13・テーブル

テーブル収納状態



テーブル天板とポールは前側ベッド下に収納します。



取り付け状態



テーブル天板はポールへ差し込むだけです。

ポールの床面への取り付けはネジ式になっています。

ベッド展開時もテーブルを使用することができます。
その場合、切り欠きのあるマットをテーブルポールの位置にはめ込みます。



テーブルがポールから抜けづらい場合は、テーブルを持ち、小さく揺すりながら上に引き抜くようにしてください。
ポールがベースから取りづらい場合も、小さく揺すりながら、反時計回りにまわしてください。

14・ベッド展開方法

ダイネット状態



ベッド展開

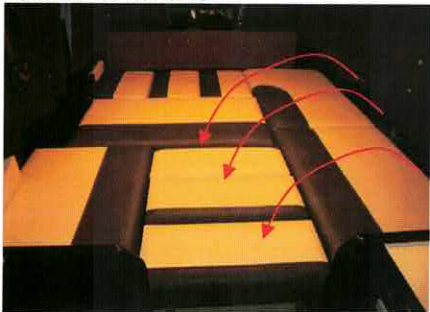
①前側の座面を写真の位置に置く。



②座面を移動させて空いた部分に前側の背もたれをはめ込む。



③右側の背もたれを中央の通路部分にはめ込んで完成。

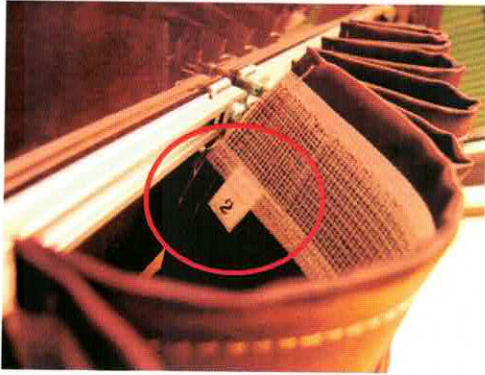


ベッド状態でテーブルを使用する場合は、右側背もたれマットの切り欠き位置を併せてはめ込んで下さい。



ベッドマット上は、立って歩行しないでください。マットが破損する恐れがあります。

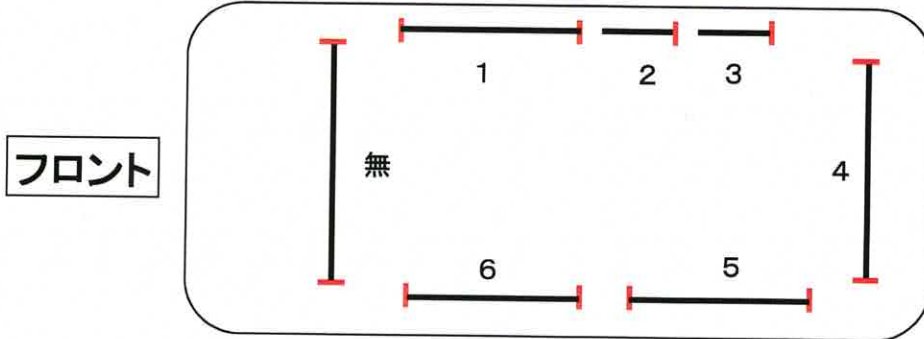
15・カーテン



カーテンには取付位置用の番号があります。

洗濯等でとりはずした後、再度カーテンを取り付ける際には下図の番号を参考にしてください。

カーテン取付け位置番号



◆カーテン洗濯時の取り扱い

洗濯時は以下の表に沿って洗濯してください。

家庭洗濯	漂白	タンブル乾燥	自然乾燥	アイロン	クリーニング
40℃限度洗濯機「標準」* 40℃限度洗濯機「標準」* 30℃限度洗濯機「弱」* 40℃限度手洗い 家庭洗濯NG <small>*洗濯機の機種により異なる</small>	漂白OK 酸素系OK 塩素系NG 漂白NG	高温 80℃まで 低温 60℃まで タンブル乾燥NG	「日なた」「日陰」 つり干し 濡れつり干し 平干し 濡れ平干し	高温 200℃まで 中温 150℃まで 低温 110℃まで *スチームなし アイロンNG	ドライクリーニング 通常処理 石油系溶剤 ドライクリーニング 弱い処理 ウェットクリーニング 非常に弱い処理 ドライクリーニング NG ウェットクリーニング NG

○洗濯機で洗濯する場合、カーテンをヒダ山に合わせたヒダ畳みにして洗います。

○40℃以下のぬるま湯または水で、**中性洗剤**をご使用ください。

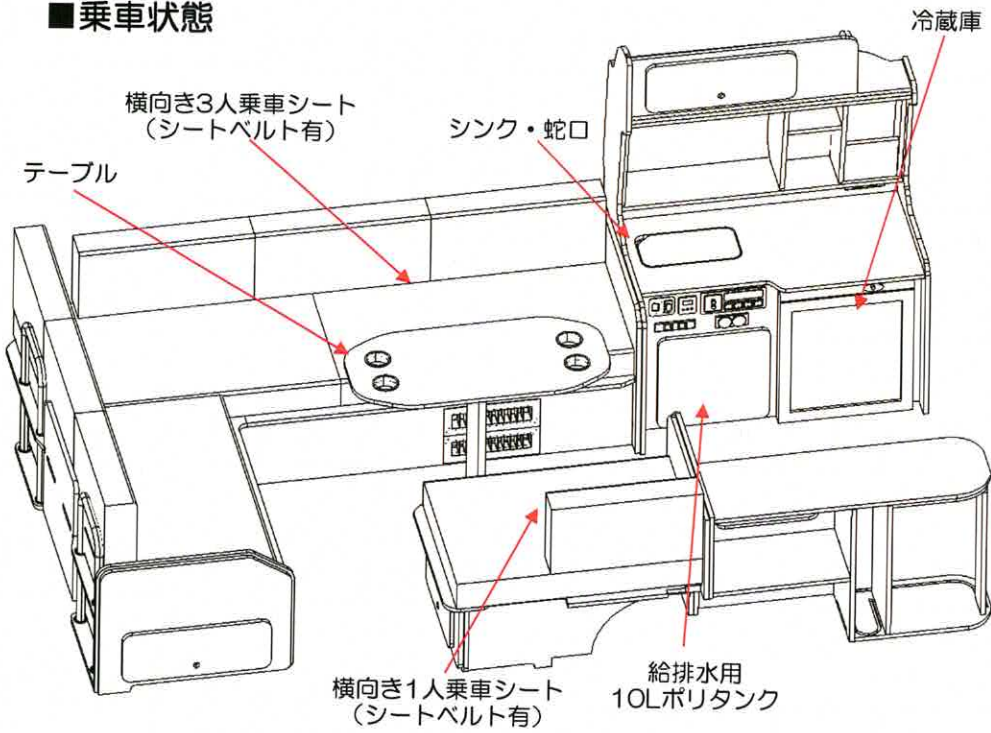
○脱水は1分未満が適当です。かけすぎるとしわの原因となりますのでご注意ください。

○風合いの変化や収縮の原因となりますので、**乾燥機は使用しない**でください。

④ 車両レイアウト

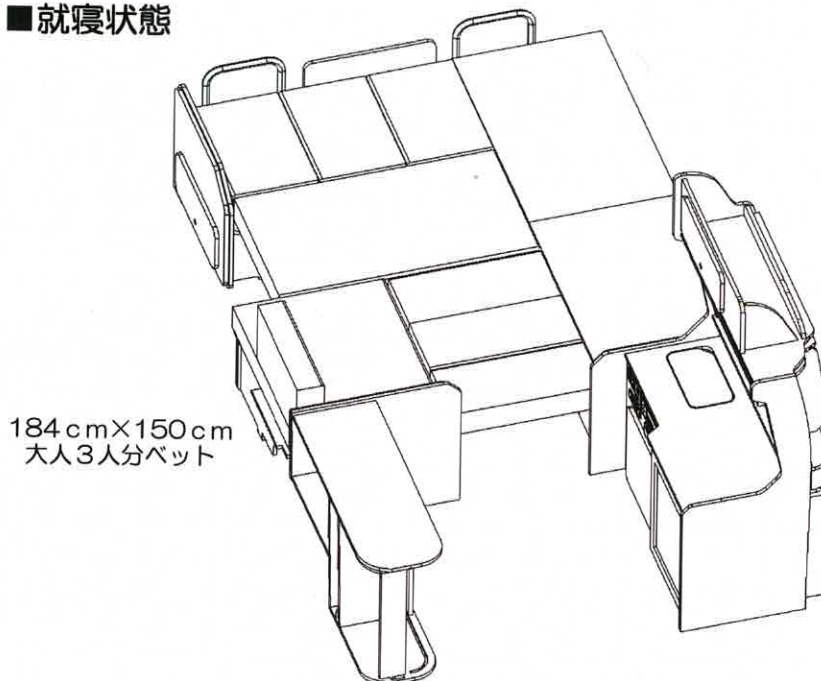
ベース車種：トヨタ/ハイエースワゴンGL（ロングミドルルーフ）
乗車定員：6人

■乗車状態

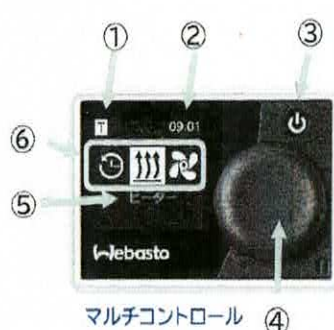


走行時、シートベルトの無い席には乗車できません。

■就寝状態



◆FFヒーター



- ① タイマー・高地・ADR * セット済表示
- ② 時刻
- ③ クイックスタートボタン
- ④ 制御ボタン
- ⑤ 表示メニュー項目
- ⑥ シンボルメニュー

マルチコントロール ④

■ スイッチのオン

◆ クイックスタートボタンからのスタート

クイックスタートボタン(上記図③)を押してください。

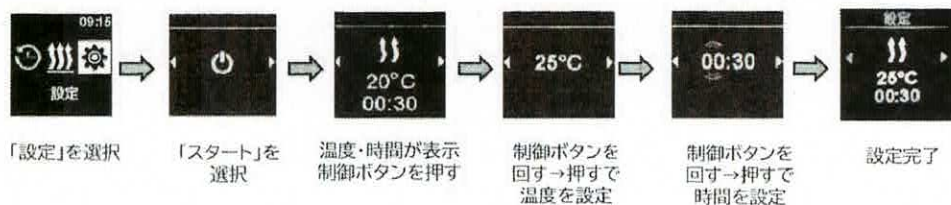
設定で決められた温度(5~35℃)、およびOFFまでの設定時間※ でスタートします。

燃焼中に温度の上下調整、または燃焼残り時間を減らすことができます。

※トラック: ∞ (MAX) または10~60分 RV: ∞ (MAX) または10~120分

☞ クイックスタートボタンでの作動設定は…

シンボルメニュー(上記図⑥)の「設定」から制御ボタン④を押す・回すことで可能です。



◆ シンボルメニュー「ヒーター」からのスタート

シンボルメニュー(上記図⑥)のヒーター を選択し、制御ボタン(上記図④)を押してください。

暖房モードと目標温度をスタート毎に設定します。燃焼中に温度の上下調整、または燃焼残り時間を減らすことができます。

■ タイマーの設定

◆ タイマーのセット…メニュータイマーを選択/決定し、タイマー追加を選択/決定します。

◆ スタートの曜日(月~日)を選び、スタート時刻と終了時刻を選びます。

終了時刻はスタート時間から10分後~24時間後まで、5分毎に設定可能です。

◆ タイマー設定数…1日3個まで、1週間で最大21個まで可能です。

◆ 稼働数…設定されたタイマーをONに出来る稼働数は、次の通りです。

マルチコントロール: RV用は21個すべて、トラック用は1個のみ可能です。

ユニコントロール: 1個のみ可能です。

☞ 詳しくは別冊の「マルチコントロール/ユニコントロール取扱説明書」を参照してください。



注意

- ADR機能を装備しているヒーターの場合… ADR機能によりヒーターが停止した場合、再度ヒーターを始動するためには、クイックスタートボタンを押してコントローラーをオフにしてから、再度オンにしてください。(ADR機能については 4ページをご参照ください)
- 緊急停止スイッチ(オプション)でヒーターを停止させた場合は、ヒーターの再始動間隔を十分に(約10分以上)取ってください。

故障かなと思ったら・・・

故障コードには、ヒーターから発せられる「点滅回数のコード」、「Hコード」と、コントロールから発せられる「Tコード」があります。

■マルチコントロール・ユニコントロールの故障コード

液晶画面に頭に「H」のついた3桁の故障コードが表示されます。



尚、故障の内容によっては、弊社指定のサービスショップ又はお買上げの販売店へお問い合わせください。また、対処方法を試みても故障が解消されない場合も同様に行ってください。

コントロールからの故障コード

マルチコントロール・ユニコントロールが故障を検知した場合は、頭に「T」のついた故障コードが表示されます。

📖 詳しくは次ページの [故障コード一覧表](#) を参照してください。



注意

- ・ エアヒーターから黒煙が出た場合は、ヒーターの燃焼用吸気管又は排気管の詰まりが原因の可能性があります。ヒーターを停止させ、燃焼用吸気管及び排気管を点検し、詰まりものを取り除いてください。
- ・ 以上の対処を試みても燃焼しない場合は、弊社指定のサービスショップ又はお買上げの販売店へお問い合わせください。修理作業一切はご自分では行わず、必ずサービスショップまたは販売店に依頼して、行ってください。
- ・ また、快適に末永くご使用いただくために、シーズン前点検、ご利用の累積時間に応じたメンテナンス/オーバーホールを推奨しております。こちらも弊社指定のサービスショップまたは、お買上げの販売店へお問い合わせください。

▼マルチコントロール・ユニコントロールからの故障コード一覧表

表示コード	故障内容	対処方法
T12	Wバス通信のエラー	ベバスト認定店にご相談ください。
Tea	アナログ通信のエラー	ベバスト認定店にご相談ください。
T84	電圧不足	バッテリーを充電してください。または、ベバスト認定店にご相談ください。
Teb	時刻エラー	停電などで時刻表示がリセットされたため、日/時刻を新たに入力してください。